



【七戸城東門】



武具関係 (小札)



鉄製品 (芋引金・鉄斧・その他)



中国産の中世陶磁器 (青磁・白磁・染付)

【中世に使われた道具】

中世七戸南部氏関係略年表

年号	西暦	事	柄	人物
元暦元年	1184	七戸産の名馬「生喰 (いけづき)」宇治川の合戦に登場する。		
文治5年	1189	『吾妻鏡』に「糠部」の文字がはじめてあらわれる。		
建久元年	1190	『吾妻鏡』に「戸立 (へだち)」の記事が見られる。		
正治元年	1199	南部光行の子朝清が七戸の遠祖となり、七戸太郎三郎と称すという。(伝)		朝清
建武元年	1334	糠部七戸内工藤右近将監跡を伊達右近大夫将監行朝に賜わる。		
建武2年	1335	2月 伊達五郎宗政「七戸内野辺地」を賜わる。 3月 七戸結城七郎左衛門朝祐の跡を政長が拝領。		政長
正平5年	1350	南部政長根城において死去。		
元中9年	1392	南部政光は、祖先以来の甲斐の地を捨て、八戸根城に入る。 その後、根城を姪長経に譲り政光は七戸に移り、新たな七戸城と町を整備する。		政光
応永3年	1396	政光、七戸見町に観音堂 (金鶏山長福寺)、小田子不動堂を創建する。 また新町に神明宮を創建する。		
応永26年	1419	政光83歳にて死去。政光死去後七戸は長男政慶が継ぐ。		政慶
康正2年	1456	蠣崎蔵人の乱あり。9月七戸政慶守るところの七戸城落城する。12月に七戸城を奪回する。(伝)		政慶
文明15年	1483	南部彦四郎の乱により、七戸城が攻撃され落城する。しかしすぐに彦四郎は捕らえられ、監禁中に自殺して事件は終焉となる。		
天正18年	1590	3月 七戸家国、九戸政実等為信討伐の要請に応ず。南部信直自ら出陣して七戸に至るも、九戸氏等の叛意を知り、急遽三戸に帰る。		
天正19年	1591	1月 九戸政実宗家南部信直に叛す。七戸家国は九戸に加担する。		家国
		3月 七戸家国、伝法寺城を攻めるが敗退する。		
		8月から9月にかけて七戸城は上杉景勝に攻められ落城する。 9月4日 浅野長政の軍門に降る。七戸南部ここに断絶する。		

史跡七戸城跡までのご案内

JR(東北新幹線)

八戸 - (15分程度) - 七戸十和田駅
 青森 - (15分程度) - 七戸十和田駅
 七戸十和田駅 - (車で5分程度) - 七戸城跡

青い森鉄道

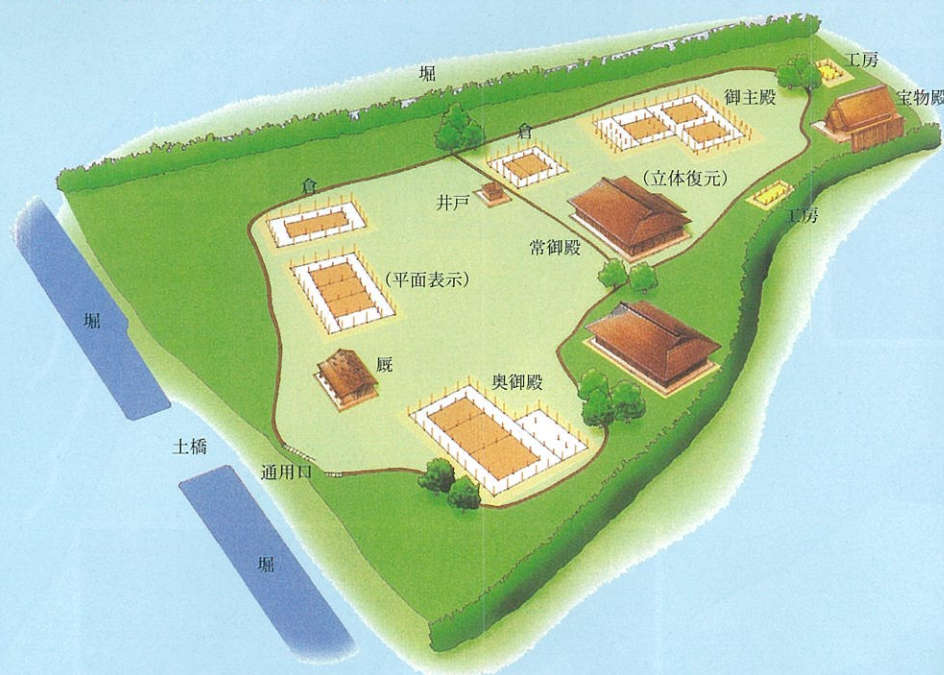
八戸 - (30分程度) - 上北町駅
 青森 - (50分程度) - 上北町駅
 上北町駅 - (車で20分程度) - 七戸城跡

東京方面よりお車で(八戸自動車道)

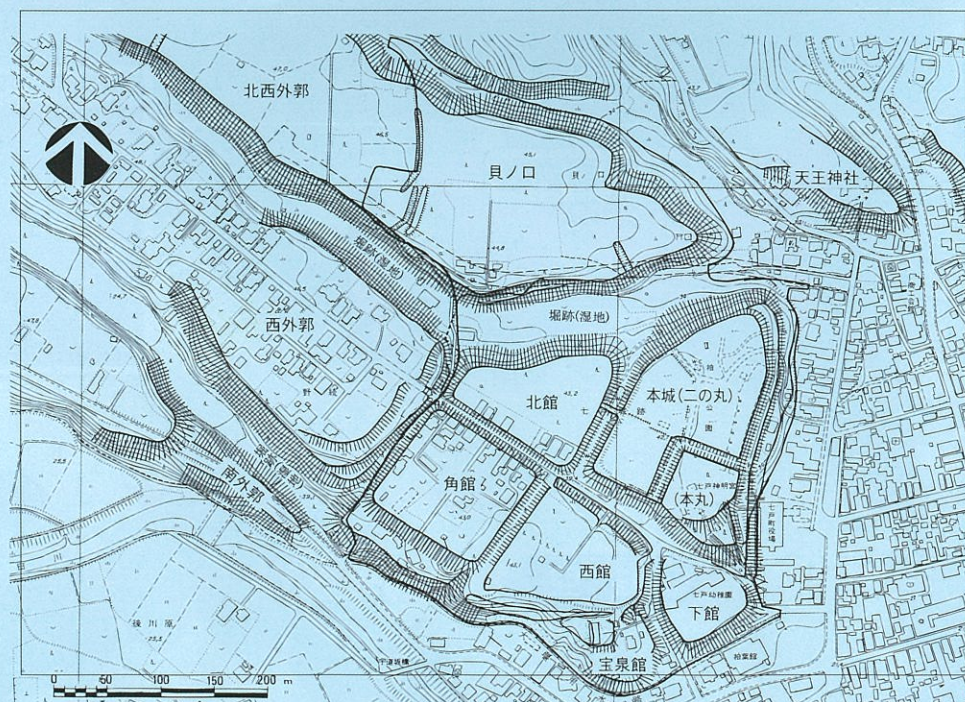
安代JC - 下田百石IC
 (国道45号線経由・国道4号線を青森方面へ40分) - 七戸町
 七戸町役場(七戸庁舎) - (徒歩で5分程度) - 七戸城跡



北館曲輪建物復元想定図



【発掘調査の成果からわかってきた16世紀後半の建物配置図】



【七戸城跡の縄張り図】

七戸城跡航空写真



七戸城跡は、室町時代初期に大規模に築城されたと考えられています。そして十六世紀末に起こった「九戸政実の乱」で七戸は戦いに破れ、落城しました。

史跡七戸城跡 (昭和十六年十二月十三日指定)

史跡七戸城跡